

## 2019/06/28 不動産投資は人生の縮図

今回のグループコンサルのテーマは  
「不動産投資は人生の縮図」です。

かれこれ不動産投資のコンサルティングを  
始めて11年目に入りますが、  
不動産投資は、属性や資産、知識や技能は  
もちろん必要ですが、  
単純にそれだけではありません。

ある意味、人間力ともいうべき、  
総合力が試される事業なのではないかと思います。

なぜなら、  
その人のコンテキストというか  
キャパシティ以上には、収入が増えないように  
なっているのをとてもよく見るからです。

例えば、  
トレーナーが必死でサポートして  
いくつもの物件を購入し、そのまま退会してしまった  
元会員さんのケースです。

その方は属性も良かったので、  
あっという間に、キャッシュフローが1000万円を超え、  
2000万円も超えました。

目標が達成したということで、退会されたのですが、  
残念ながら、その後聞いた話では、管理会社とうまくいかず、  
結局素晴らしい物件なのに売却するはめになってしまったそうです。

そして、その人が運営できるだけの物件規模で  
落ち着いたようです。

恐らく、その方のコンテキストが、  
小さいままだったんでしょう。

これは、ほんの一例ですが、  
普段の自分の考えや、人間関係の構築が  
そのまま自分の人生に反映されるということを  
非常によく表していると思います。

なぜ、不動産投資では、これほどまでに  
人生の縮図となるような現象が起きるのでしょうか？

それは、不動産投資では、尋常ではない精神状態に  
よく追い込まれるからではないでしょうか。

人生の重要なターニングポイントで  
いかに冷静に、適切なチョイスができるかが  
その後の人生を大きく左右します。

つまり、通常の状態では  
なくなってしまった時こそ、  
その人の本質が試される時だと思います。

例えば、物件を購入する時であれば

- ・自分のキャパシティを超えるほど、大きな物件に買付けを出した時
- ・押えていた物件が、他の人に取られてしまった時
- ・どうしても欲しい物件に融資が伸びなかった時
- ・連続して、融資でコケてしまった時

など、

また、購入した後の運営であれば、

- ・思ったほど入居募集がうまくいかない時
- ・所有物件で、何か重大なトラブルが起きた時
- ・高額なリフォーム費の請求があった時

などです。

このような、人生の縮図のような  
不動産投資にせっかく関わっているのですから、  
不動産で起きたことを、普段の生活にも置き換えて  
反省したり、変化させていくヒントに  
してみてもいかがでしょうか？

きっと、加速度的に  
進化することができると思います。

## ■今回の音声を聞くメリット

- 融資が見つからない、管理会社とうまくいかない、など、不動産投資をしていて起こっている問題点は、普段の生活の中でも、繰り返し起こっている可能性があります。あなたに繰り返し起こる、問題点の原因を探ることができます。
- 繰り返し起こる問題点は、大きく分けて4つあります。
  1. 固定した注意（忙しくて頭パンパンで、余力がない状態）
  2. 混乱（整理整頓ができておらず、自分の基準が不安定な状態）
  3. 他者の指示（指示がないと動かない状態。依存状態）
  4. 先入観（物事にフィルタがかかり、宝物もゴミになる状態）
- パソコンのデスクトップがアイコンだらけの場合、頭の中が混乱状態になっている可能性があります。
- 他者の指示を待っている場合、相手に依存している可能性があります。そんな方は「失敗したのはあなたのアドバイスが悪いからだ」と攻撃する傾向があります。投資家としていい状態ではないです。
- 「不動産屋は信頼してはいけない」という先入観があった場合、お宝物件を紹介されても、ゴミに見えてしまうので、結局買えません。
- もし問題が繰り返し起こっていたら、どうすればよいか？その対策方法がわかります。

## ■今回の感想

一事が万事ではないですが、人生のあらゆる局面で同じような状況に遭遇している可能性があるというのが、面白かったです。

裏返して言うと、一つの事にどのように対処するかで、人生で遭遇するあらゆることに対処するスタンスを養えるということなので、やはり普段が大切だということがよく解りました。有難うございました。

（中部地方 ペンさん）

自分は何か問題が起こると、固定で怒りや不安が出てくるタイプです。  
その自分から離れて、客観的な自分になれるよう気をつけたいと思います。  
(関東地方 みやびさん)

うまくいかない4つのパターンがあるということは目から鱗でした。  
今後は不動産も含めて、人生の上でうまく行かない局面に  
差し掛かった際には、今日のお話の4つのどのパターンに  
入っているのかを考えて、そこから抜け出すようにしたいと思いました。

不動産投資がうまくいっているときは、これまでもいつも  
ワクワク状態が続けていましたので、ワクワク感が得られない時は、  
もしかするとうまくいっていない時かもしれないと  
考えるようにしたいと思います。  
(関東地方 ゼーたさん)

やはり人間は ほぼ全く逆方向の2つの欲求が強い状態が時にあり、  
それが「葛藤状況」なんですね。昔、物凄くワルだった人が、  
更生して企業で成功したり、ボランティアに人生懸けたり、  
他者に尽くす牧師、神父になる事例があります。  
私にはとても真似できませんが、仙人みたいになるようです。

半グレの場合も大人になり、180度に変化するので 中途半端になります。  
「不動産投資は人生の縮図」の意味が良くわかりました。  
(中部地方 かもねぎさん)

アバターの教えを生かしありがとうございます。  
各4つのパターンの特徴に対する改善策、対処により  
詳しくフォーカスして時間をとって頂けるとありがたい。  
(関東地方 ステファンさん)

今までの自分は、「うまくいかないパターンに陥らないように。」  
と何となく意識しているだけだったということに気づきました。

俯瞰して自分を見るように気をつけていましたが、明るく楽しく  
ワクワクしている自分まで導けていなかったように思います。  
不動産投資だけでなく、自分の人生に生かせる大きな気づきになりました。  
(関東地方 ミームさん)

自分のことを見つめ直すのに、良い機会と思い参加しました。  
ワクワクする冒険家のような状態はあったのか？と思い起こし。

入会し、物件検索し、調査に行き、その後この物件を買おうと  
行動していた時がそうだったのかなと今は思います。

(関東地方 ダビンチさん)

4つのタイプ分け、腑に落ちる内容でした。  
自分がそうならないように、気をつけつつ、そんな人からの  
マイナスオーラを受けないよう、自分の立ち位置を  
常に明確にしながら、進めて行こうと思います。

(関東地方 KAZさん)

不動産投資で関わって起きた出来事を普段の生活に置き換え、  
どんな現象が起こるか？どんな状態だったか？  
問題点を見つけ、変化させるヒントを頂きました。

例えば、先入観のワナにはまっている人は

「どうせ、〇〇だから。」

など、色メガネで見ている人は、宝物が全部ゴミになってしまったり

「だって・・・、でも・・・」

の多い人は、ネガティブな自己暗示をかけている。

それが他人に伝わって負の結果を招いている。

大切な事は、冷静になって自分がどのような状況にあるか、  
客観的に見る事ができれば、いいアクションにつながるという事ですね。

今回は、反省点やモノの見方に気づきを頂きました。

今後活かしてみたいと思います。

ありがとうございました。

(中部地方 みっちゃんさん)

人生を振り返ってみると、不動産投資に行き着くまでに  
不動産に関する事に関わってきたように思います。  
仕事とは、別のルールが敷かれていたのかもしれませんが。

不動産のルールには、今までに無い出会いや経験がありました。  
そして、これからもワクワクするような体験をたくさんしたいと思います。  
同じルールで同じ方向に進んでいるこの会に参加できた事が

ターニングポイントのように感じます。

(関東地方 Mさん)

「たぶん、どうせ」といったフィルターや先入観を持つことで、宝物がゴミに見えるというのは本当にそうだなと思いました。

先入観にとらわれず、盲点を作らないよう注意して多角的に物事を見られるスタンスを保ちたいです。

自分を俯瞰で見て、客観的に、丁寧にコツコツと進めていこうと思いました。

(関東地方 ジョージKさん)

連帯保証の話が面白かったです。私も家内を説得するも、3棟目の時に「これ以上は無理！」と言われて村田先生に慰めてもらったのを思い出しました。

それでも今まで買い進めてこれているので、出来ればお話をシェアしたかったです。

(関東地方 ともきさん)